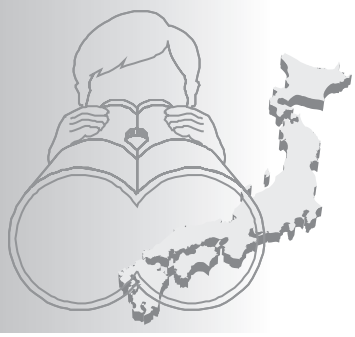
日本列島組合探検隊



連携による事業展開 家屋の耐震補強を目的とした新しい耐震補強建具の開発と商品化

～和歌山県建具事業協同組合（和歌山県）～

◆背景と目的

耐震危機意識の高まりに伴う古い木造住宅の耐震補強部材の需要拡大を背景に、当組合は、住宅設計・建築デザインの専門家である協同組合ジオットデザインを中央会から紹介され、両組合が連携して「耐震補強建具」の研究開発を進めた。

耐震補強建具の研究開発を進めるに当たり、中央会の指導・支援の下で、技術指導・情報提供等を受けた和歌山県工業技術センターと耐震建具の耐震実験・検査を行った近畿職業開発大学校と協力機関として産学官共同で今回の事業に取り組んできた。

◆事業・活動の内容

住宅に関連する異業種の２つの組合が連携して、中央会をはじめとする関係機関の協力の下で、２年間に亘って検討会議・耐震建具の試作や建具の耐震実験などを実施してきた。今回の新しい取り組みにより、両組合とも本音の技術・ノウハウの交流、意見交換がなされたことも大きな意義があったと考えられる。

◆成果

建具の耐震強度の実態把握、耐震補強建具の試作、耐震強度実験などの基礎的な研究開発に取り組む中で、問題点の抽出とそれに対する対応策が検討され、一定の成果を上げることができた。今後は、これまでの研究実績を踏まえて、実用可能な耐震補強建具の開発を急ぎ、認定機関の認定取得と、商品化に取り組む必要がある。

【組合の概要】
所在地：和歌山市本町 5-29
電　話：073-422-3957
設　立：昭和 25 年 1 月　　組合員：119 名
ＵＲＬ：http://www.wakayamatategu.com/

連携による事業展開 商店街でお仕事体験～地域との連携で街を活性化

～大橋通り商店街振興組合（高知県）～

◆背景と目的

商店街に対しては、単に物を買い求めるだけでなく、「つくる」「あそぶ」「ふれあう」といった体験等を求めるとともに、「地育」といった考え方も浸透し始めている。

そうしたことから、「地域との連携」「消費者との交流」「文化の継承と創造」をコンセプトに、より街と親しんで頂くためのイベントを企画することとなった。

◆事業・活動の内容

当商店街では、イベントとして「わくわくワークるんだ商店街」を、行政や各種教育機関、関連団体、企業等との連携により創出し、継続実施している。具体的な内容としては、アーケード内に店舗ブースを設置の上、子供たち（小学校高学年）に対し「仕事体験の場」を提供し、参加者には、当日設置する「るんだマーケット」でのみ使用できる「るんだ通貨」を給料として支払っている。

なお、実施に際しては、高知市教育委員会からの後援を得るとともに隣接する商店街やエリアでのイベントと同日開催するなど、中心商店街全体での賑わいづくりを心掛けている。

◆成果

商店街単独では為しえなかった企画が、それぞれの分野のプロフェッショナルと連携することにより、充実したイベントとして実現したことは、街の新たな活性化策へつながることが期待できる。

また、地域や消費者とともに創り上げる「商店街ならでは」のイベントを通じ、子供の社会教育に貢献していることはもちろん、街や個店に対する愛着を感じて頂くことによって、より深い消費者との交流が生まれたことは、今後の街づくりの可能性を広げるものであると考えられる。

【組合の概要】
所在地：高知市帯屋町2-1-20
電　話：088-873-1366
設　立：昭和41年5月　　組合員：45人
ＵＲＬ：http://www.kochikc.co.jp/ohashidori/

※本コーナーは、全国中央会が取り纏めた「先進組合事例」をもとに編集しています。